

◎ご使用に際して

- ・ 使い始めは、竹が持つ灰汁によりまれに布巾などに竹の色がつくことがあります。しばらく使い続けると収まります。
- ・ 水にさらしてから使うと、においやカビの原因になる有機物が浸み込みにくくなります。
- ・ 長時間水に浸けたままにすることや直射日光、食器洗浄機、電子レンジなどによる過度な加湿、加熱や乾燥は、カビや腐敗または反りや割れの原因となりますので避けてください。
- ・ 使用環境によってカビや黒ずみが発生する場合があります。浸け置きせず洗浄後はすぐに水分を拭き取り、よく乾燥させてください。繊維に入り込んだカビを取り除くことは困難です。表面についたカビは、紙ヤスリ等で削り消毒用アルコールで拭いてください。

産地 奈良県生駒市

製造 影林 則昭 (株)

制作 東屋